

学校訪問シリーズ 89

大分市立敷戸小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「自分に自信をもち、人と学びあい、主体的に生きる『しきどっ子』の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「主体的に学ぶ力」「相手を思いやる心」と定め、研究部と生活指導部を中心に実践を推進しています。

注目すべき点は、上記の2部会はそれぞれの目標について①指導した取組状況②指導のふりかえり③子どもの自己評価④教師からみた子どもの様子について各学年毎に分析し、翌月の具体的な目標を定める検証サイクルを毎月行っていることです。このように、教職員と子どもによる定量評価と定性評価を行うことで、きめ細やかな分析ができ効果的な指導が行われています。さらに、子どもの意識も高まり、児童会独自の取組へと広がる等目に見えた成果として表れています。

今後は、結果から要因分析を行うことと、「一点突破シート」の名称のとおり、取組項目をより焦点化し、子どもに任せるような実践が期待されます。

授業から学ぶ

教材の工夫やICTの活用により意欲的に学びに向かう子どもの様子を見ることができました。また、子どもどうしの学び合いのレベルも高く、日常的に行われていると確信しました。

なお、課題については、子ども達の発言から設定するよう、校内で協議されてみてはいかがでしょうか。



NO.503 2022年11月 大分市立敷戸小学校

楽しく学ぶ

予想したことを実際に試してみる。
なかなか上手くいかないから工夫する。だから、楽しく学べる。



NO.502 2022年11月 大分市立敷戸小学校

主体的に生きる

たくましい子



NO.501 2022年11月 大分市立敷戸小学校

周りの人と共に学びあう

かしこい子



NO.500 2022年11月 大分市立敷戸小学校

周りの人や自分のことを大切に思う

心豊かな子